

自然の中にガネーシュ神を垣間見る

マカリオ・サルソゾによる紹介

ガネーシュ神、インド中そしてシッダ・ヨーガの道であが崇められているゾウ像の頭を持つ神は、物事の始まりの神、障害を克服する神として知られています。ガネーシュ神の祝福で、私たちはどんな困難にも打ち勝ち、新たに人生を始めることができると言われています——何度でも。この新しさと驚きの感覚により、世界中のシッダ・ヨーギたちは周囲の自然界にガネーシュ神のしるしを探します。。

今月を通して、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトでは、インドのさまざまな精神的な伝統でよく知られている、神聖な愛の本質と実践についての深遠な言説の集積である、『ナーラダ・バクティ・スートラ』からの詩節を特集します。この教典から選ばれたものを学ぶことにより、多くの人にとって最も心を奪い神秘的な人生の主題である、この完全な愛を深く理解し体験することができます。

『ナーラダ・バクティ・スートラ』は、1人もしくは数人の賢人により、10世紀または11世紀に作られたと、学者たちは考えています。84の格言、すなわちスートラで構成されたこの上なく優れたこの教典の言説は、世界と私たち自身の心の内側の両方に存在する、最も壮大で崇高な愛を、認め育むように私たちを鼓舞します。

これらのスートラを作ったと考えられているナーラダは、永遠の天上の賢人(デーヴァリシ)の名前です。尊敬されているナーラダは、「すべての賢人の王」を意味する、リシ・ラージとしても知られています。古代の物語は、世界中だけではなく、さまざまな天上の領域をも旅する、気高くもあり滑稽でもあるその人となりを言葉で生き生きと表現しています。彼はいつも二つの

古代楽器、ヴィーナーとカルタールを手にし、ナーラーヤナの神聖な名前を愛情を込めて歌い、ヴィシュヌ神のこの側面を呼び起こしました。ナーラダはヴィシュヌ神の最愛の信奉者で、友や指導者として精神的な探究者の前にしばしば現れ、神聖な愛、バクティの道へ彼らを導きます。

『ナーラダ・バクティ・スートラ』の詩節を学ぶことで、私たちは、バクティは神への献身の実践であると同時に、人生の最も崇高な達成を示す恍惚(こうこつ)の境地にあることの両方であることを学びます。バクティは、自らを回復させる熱意と創造性に満ちた、愛が込められた奉仕の実践である献身を通して、神聖な愛と一体となった境地なのです。私たちが、思考、言葉、行動や精神修行を神への崇拝としてささげる時、神聖な愛の知識の中で私たちは成長します。私たちが内側の状態を絶えず考察することにより、私たちは心の最も大切な意図と本当に調和しているかどうかを、検証することができます。

執着や期待のない、この一点に集中した崇拝は、私たちが神の無条件の愛の体験へと導きます。そのような妨げるもののない愛は、私たち自身の真の価値、すなわち私たち自身の大いなる自己の偉大さを体験することを可能にします。私たちは神聖な神秘の核心——私たちの中に、すべての人、そしてすべての物の中に、卓越した神が住んでいるという認識——へと導かれます。絶対に、何ものも——どんな物も！——そしてどんな人も、そこから除外されることはありません。この境地では、全世界が神の至福のきらめく粒子で脈動しているのを体験することができます。これがバクティの力と偉大さであり、シッダ・ヨーガの核となる教え、「互いの中に神を見なさい」を実践することの崇高な成果です。

シッダ・ヨーガの道では、チャンティングや瞑想、そして教典の朗唱といった修行が、内側で献身の知識を目覚めさせ、私たちが自分自身の存在の内側で絶えず流れているネクターへとつながります。シッダ・ヨーガの道ではまた、アッカ・マハーデーヴィー、トゥカーラム・マハーラージ、そして聖人ミーラーバーイーのような信奉者たちの数多くの物語が語られています。それ

らは、神への謙虚で一点に集中した献身が、いかに私たちをこの完璧な愛の体験に開くかを、美しく伝えています。

2 月の間、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで神聖な愛をたたえる時、『ナーラダ・バクティ・スートラ』からのこれらの詩節を学び、私たちが愛と呼ぶものの真の神聖な本質について、それらが私たちに教えずにはいられないことを熟考することができます。たとえ私たちが神聖な愛を一度も体験したことがないと思ったり、あるいは無条件の愛のように高尚なものは自分の手の届かないところにあると考えていても、『ナーラダ・バクティ・スートラ』は、私たちが生活の中で自然に見いだす愛を使って、この完璧な愛に近づくことができると教えています。パートナーに、友人に、家族に、ペットに、まさに自分自身にさえ感じる愛が、バクティの実践を通して、神聖な愛の完全な成就へと導くことができます。

